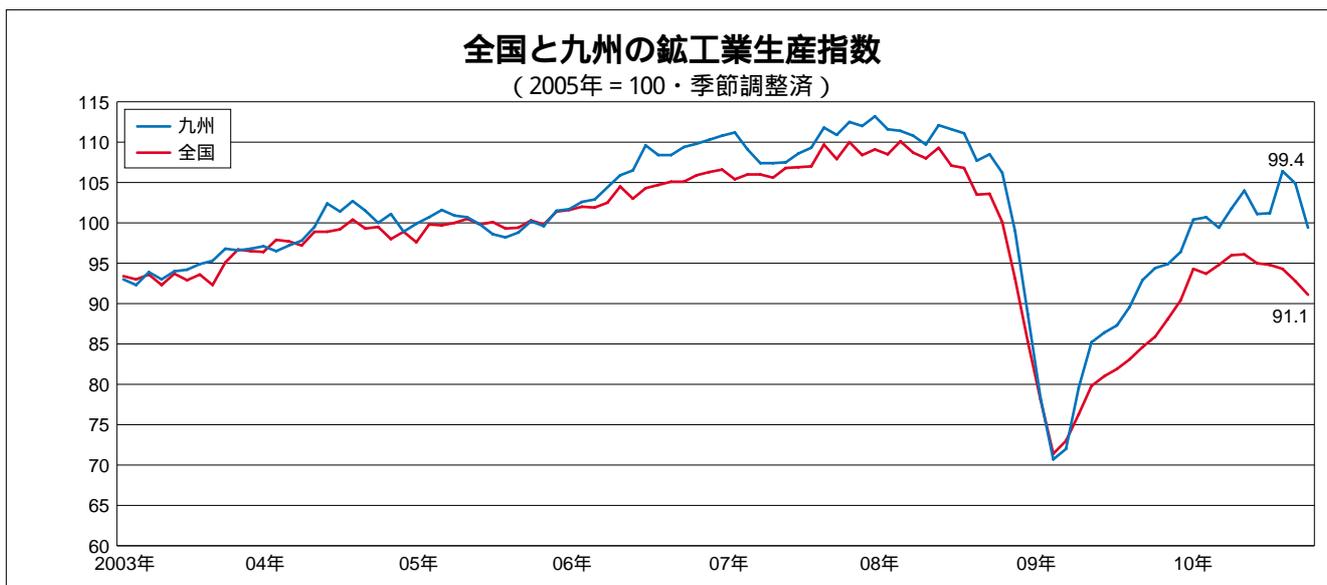


九州の鉱工業生産動向

[基調判断] 持ち直しの動きは弱含みつつある

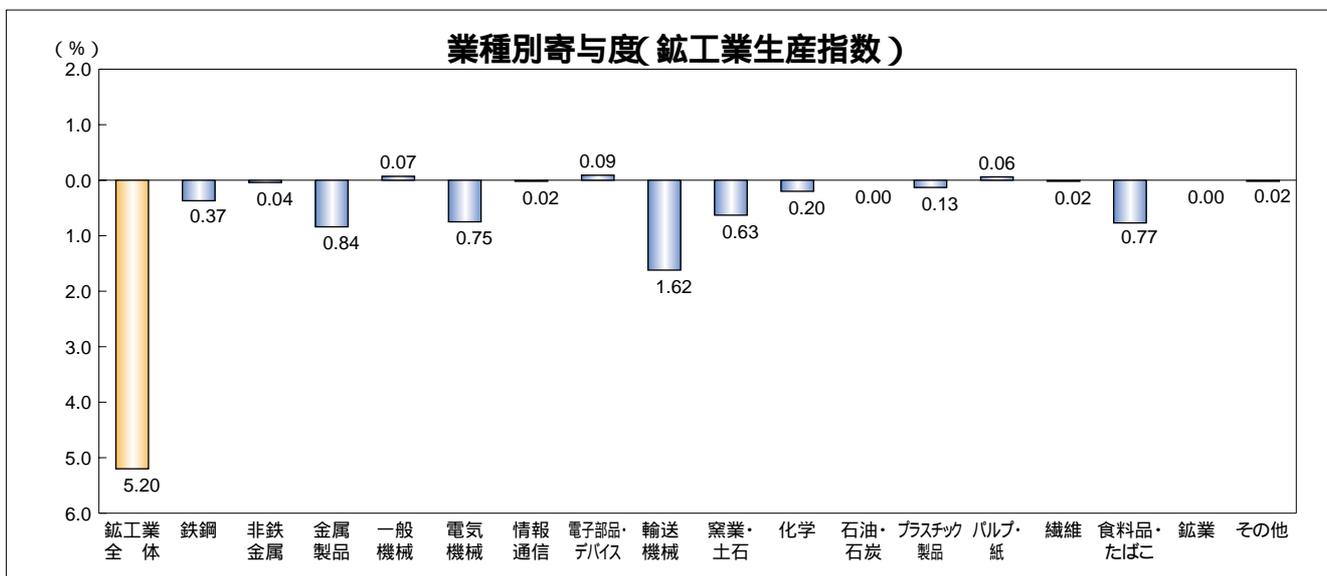
2010年10月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、エコカー補助金制度が終了したことによる影響が大きい輸送機械や、夏場の猛暑による需要増の反動がみられた飲料類に加えて、10月のたばこの値上げで食料品・たばこが大きく落ち込んだこと等から、前月比5.2%低下の99.4と2ヵ月連続で前月実績を下回りました。補助金制度終了や値上げ等、特殊要因の影響はありますが、生産活動はこれまでの持ち直しの動きがやや弱含みつつあります。



(出所)九州経済産業局 鉱工業生産指数... 1ヵ月当たりの生産量を基準年を100として品目ごとに指数化したもの。我が国の鉱業及び製造業の生産全体の動向を示す代表的な指数。

[業種別動向] 輸送機械をはじめ17業種中 14業種がマイナスに寄与

業種別にみると、エコカー補助金制度の終了によって国内向け乗用車の生産が激減した輸送機械や、期末月越えによる建設工事の減少で鉄骨等の生産も落ち込んだ金属製品に加えて、10月の値上げ実施によってたばこの生産が大きく減少した食料品・たばこ等、全17業種中14業種でマイナスに寄与しました。



(出所)九州経済産業局

福岡県の最近の経済動向

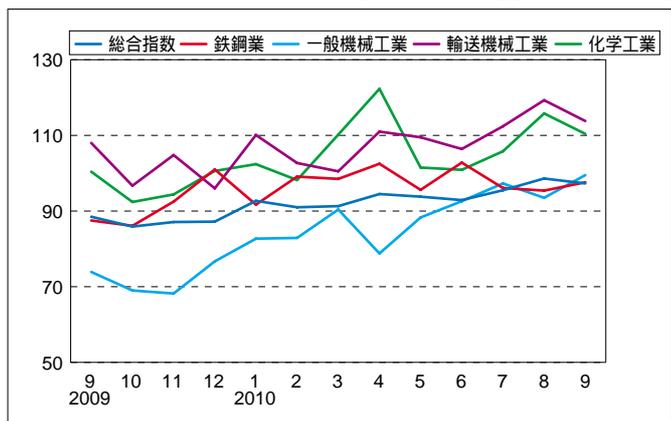
[福岡県の景気].....持ち直しの動きが続いている

生産活動では、9月の総合指数は3ヵ月ぶりに低下しました。エコカー需要増等で前月好調だった輸送機械や化学等で反動が見られたこと等が要因ですが、生産自体は高水準の状態が継続しており、持ち直しの動きは続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、飲食料品や季節商品等の販売が伸びたことから27ヵ月ぶりに前年比プラスとなりました。住宅建設も優遇制度等の効果もあって8ヵ月連続で前年実績を上回るなど、総じて堅調に推移しています。

[生産活動].....総合指数は3ヵ月ぶりに低下

福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



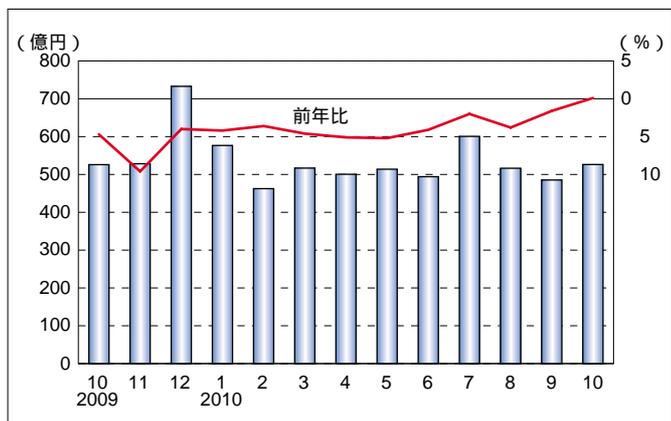
(出所) 福岡県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きをみると、総合指数は前月比1.3%低下の97.3と、3ヵ月ぶりに低下しました。

主要業種では、前月エコカー需要増により生産が好調だった輸送機械(同4.6%低下)や化学(同4.7%低下)で反動が見られたものの、高水準での生産が続いています。一方、液晶テレビの需要増に伴うフラットパネルディスプレイ製造装置の生産の伸びから一般機械は同6.4%上昇、鉄鋼も同2.3%上昇しました。

[大型小売店].....27ヵ月ぶりに前年を上回る

福岡県の大型小売店販売額



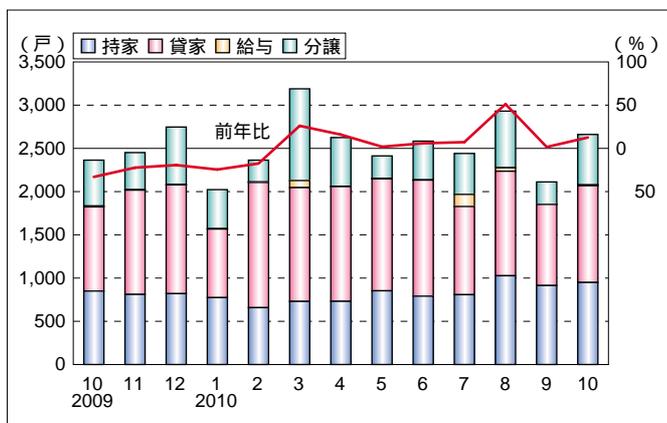
(出所)九州経済産業局

10月の大型小売店販売額については、百貨店では、物産展等の催事効果や下旬の気温低下に伴う秋冬物衣料の需要増等から、前年同月比2.0%減と前年割れは継続しながらも減少幅は縮小しています。一方スーパーでは、前年より日曜が1日多いことや、気温低下による鍋物需要等から飲食料品が好調となり、同1.6%増加しました。

大型小売店全体でも、同0.1%増の526億円と27ヵ月ぶりに前年を上回りました。

[住宅建設]..... 8 ヶ月連続で前年を上回る

福岡県の新設住宅着工戸数



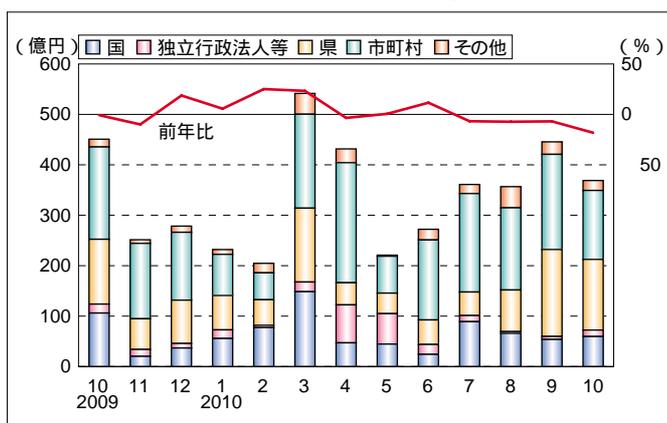
(出所)国土交通省

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比12.6%増の2,661戸と8ヶ月連続で前年を上回りました。

用途別をみると、住宅減税や住宅エコポイントの効果等から、持家は同11.6%増の949戸、分譲は、マンション、一戸建てともに新規着工が伸び同10.0%増の583戸となりました。また、貸家も同15.0%増の1,119戸と前年を上回りました。

[公共工事]..... 請負金額は4ヶ月連続でマイナス

福岡県の公共工事請負高



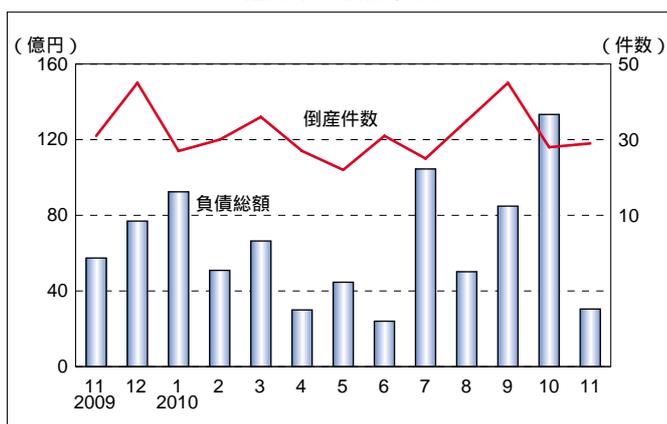
(出所)西日本建設業保証

10月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比5.3%減の1,051件、金額は同18.2%減の369億円と、請負金額は4ヶ月連続で前年比マイナスとなりました。

発注者別にみると、下水処理場関連工事等の発注により「県」で同9.0%増となったものの、公共工事費の削減の動きの中で「国」(同43.9%減)や「独立行政法人等」(同27.8%減)は大幅に前年を下回りました。

[企業倒産]..... 件数、負債総額ともに前年を下回る

福岡県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

11月の福岡県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比6.5%減の29件、負債総額は同47.0%減の30億円と、件数、負債総額共に前年を下回りましたが、建設業を中心に、販売不振等による1億円未満の小口の倒産は増加しています。

熊本県の最近の経済動向

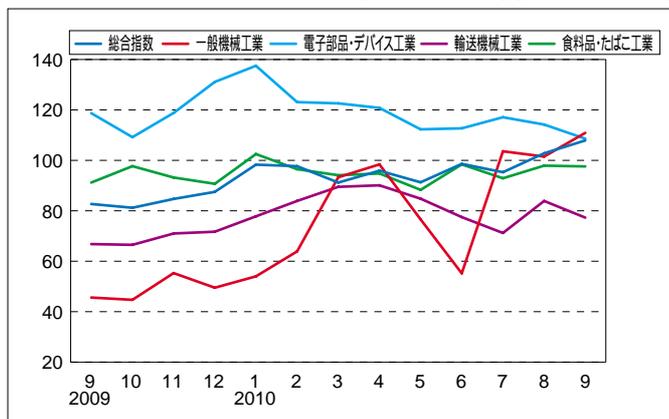
[熊本県の景気].....持ち直しの動きが続いている

生産活動では、9月の総合指数は自動車関連機器の生産が伸びた一般機械等が寄与したことで2ヵ月連続の上昇となる等、持ち直しの動きが続いています。

住宅建設は、持家や分譲が増加したことから2ヵ月連続で前年を上回りました。大型小売店販売額は、飲食料品や季節商品等が好調で、24ヵ月ぶりに前年を上回りました。企業倒産は、大型倒産の発生等から負債総額は前年を上回っています。

[生産活動].....総合指数は2ヵ月連続で上昇

熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年 = 100)



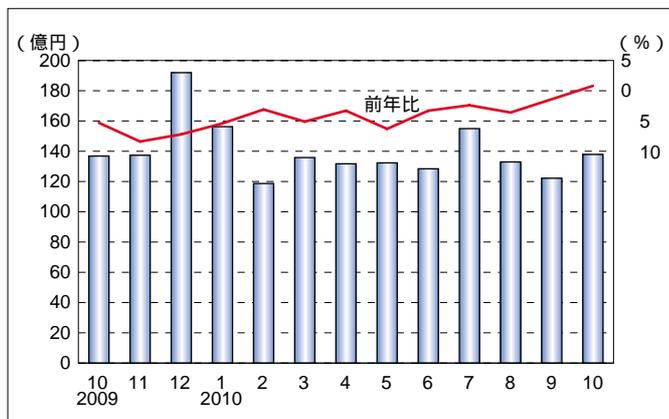
(出所)熊本県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きを見ると、総合指数は前月比4.9%上昇の107.9と2ヵ月連続で上昇しました。

主要業種別にみると、エコカー需要による自動車関連機器の生産が伸びたことから一般機械は同9.3%上昇しました。また、電子部品・デバイスでは同4.9%低下しましたが、生産は高水準を維持しています。

[大型小売店].....24ヵ月ぶりに前年を上回る

熊本県の大型小売店販売額



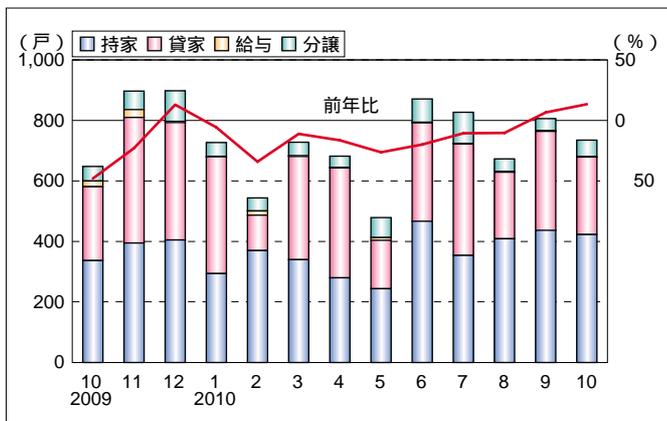
(出所)九州経済産業局

10月の大型小売店販売額は、前年同月比0.8%増の138億円で、24ヵ月ぶりに前年を上回りました。

商品別でみると、主力の衣料品は同2.5%減と低調でしたが、気温が低くなった影響から秋冬物の需要が伸び、減少幅は縮小しました。一方、飲食料品が同2.0%増となったほか、季節商品の売上も増加したことからその他の商品が同3.3%増となる等、前年を上回りました。

[住宅建設] 2 ヶ月連続で前年を上回る

熊本県の新設住宅着工戸数



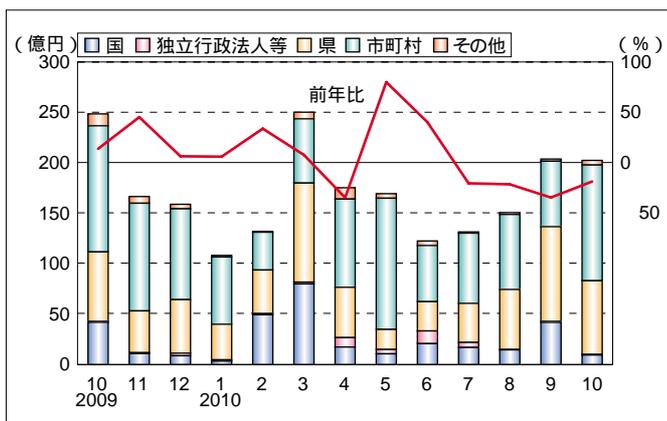
(出所)国土交通省

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比13.4%増の735戸と2 ヶ月連続で前年を上回りました。

用途別にみると、住宅減税等の影響により持家は同25.5%増の423戸、分譲は一戸建ての新規着工により同14.6%増の55戸となりました。また、貸家も昨年落ち込んだ反動から同4.9%増の256戸と前年比プラスとなりました。

[公共工事] 件数、請負金額ともに前年を下回る

熊本県の公共工事請負高



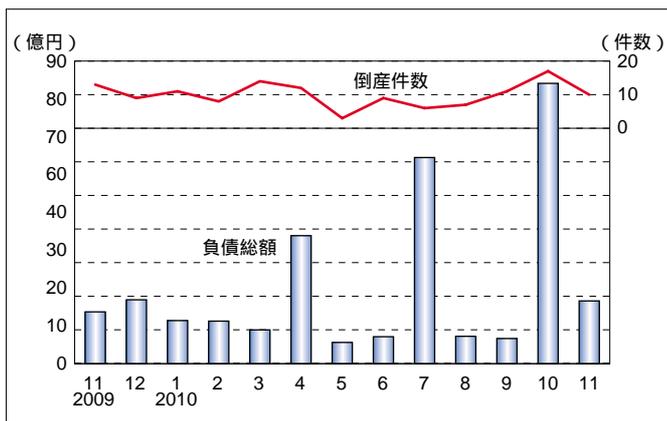
(出所)西日本建設業保証

10月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比7.7%減の717件、金額が同18.5%減の202億円となり、件数、請負金額ともに前年を大幅に下回りました。

発注者別の請負金額をみると、県営住宅や校舎改築工事等により「県」で同6.2%増となったものの、「国」で同77.4%減、「独立行政法人等」で40.9%減と落ち込みました。

[企業倒産] 大型倒産の発生により負債総額は前年を上回る

熊本県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

11月の熊本県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比23.1%減の10件、負債総額は同21.1%増の19億円となりました。

飲食関連企業による大型倒産(負債総額約13億円)が発生したことにより、負債総額は前年を上回りました。また、建設業を中心とした小口の倒産も増加しています。

長崎県の最近の経済動向

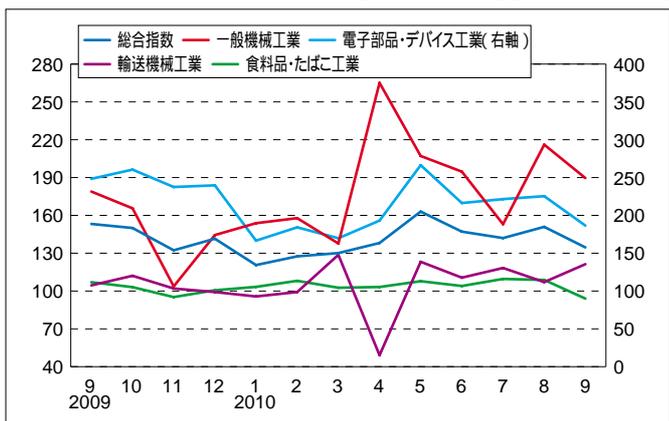
[長崎県の景気].....持ち直しの動きが続いている

生産活動では、9月は電子部品・デバイスや一般機械の生産低下が全体を押し下げ、総合指数は2ヵ月ぶりに低下しました。しかし、生産自体は依然高い水準にあるなど、持ち直しの動きが続いています。

大型小売店販売額は、季節要因により衣料品の販売が持ち直したことや、季節商品等の売上が好調だったこと等により4ヵ月連続で前年を上回っています。住宅建設は、持家や貸家が減少したことにより4ヵ月ぶりに前年を下回りました。また、企業倒産は、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。

[生産活動].....総合指数は2ヵ月ぶりに低下

長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済)(2005年=100)



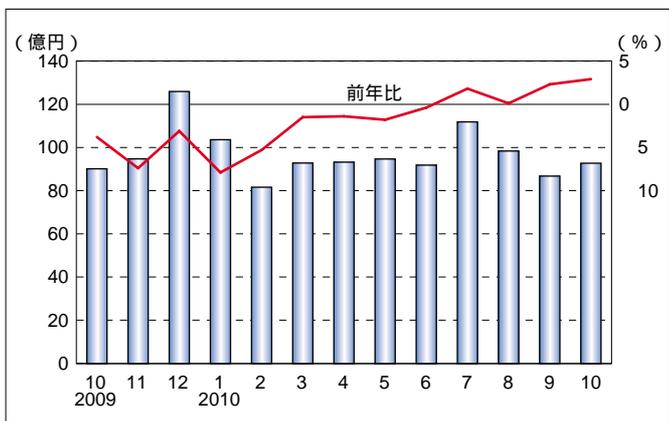
(出所)長崎県

9月の鉱工業生産指数(季節調整済)の動きをみると、総合指数は前月比10.8%低下し134.6と、2ヵ月ぶりに低下しました。

業種別でみると、一時的な生産調整により電子部品・デバイスは同17.5%低下、一般機械も同12.3%低下したものの、高水準での生産が続いています。また、新造船の生産が伸びた輸送機械で同13.3%上昇しました。

[大型小売店].....4ヵ月連続で前年を上回る

長崎県の大型小売店販売額



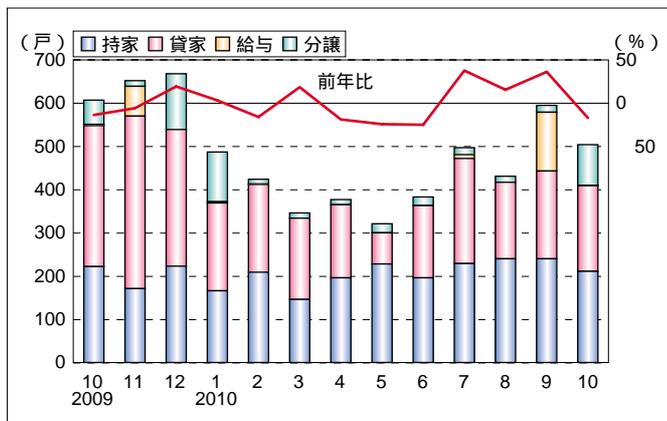
(出所)九州経済産業局

10月の大型小売店販売額は、前年同月比2.9%増の93億円と、4ヵ月連続で前年を上回りました。

商品別では、主力の衣料品は、気温の変化により秋冬物の販売が持ち直し同0.4%減と、減少幅は縮小しました。一方、液晶テレビ等エコポイント対象家電や防寒対策の為の季節商品等の売上が好調だったことにより、全体では前年を上回りました。

[住宅建設] 4 ヶ月ぶりに前年を下回る

長崎県の新設住宅着工戸数



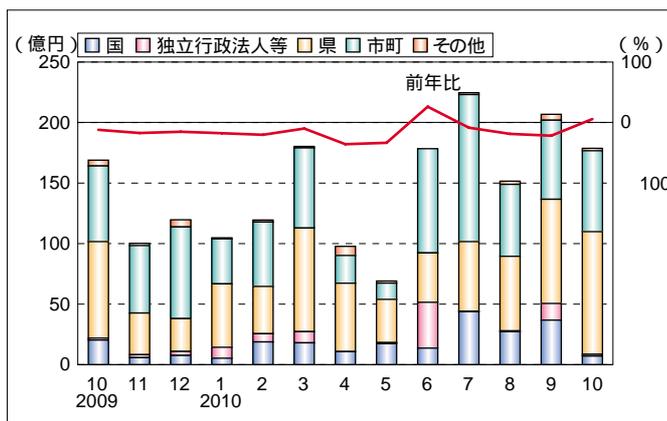
(出所)国土交通省

10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比17.0%減の504戸と4 ヶ月ぶりに前年を下回りました。

用途別にみると、分譲は一戸建てのほか、長崎市内でのマンションの新規着工により同67.9%増の94戸と前年を上回りました。一方、持家は前年並みながら同5.0%減の211戸、貸家は昨年大口案件の着工があった反動から同39.3%減の198戸となりました。

[公共工事] 件数、請負金額ともに前年を上回る

長崎県の公共工事請負高



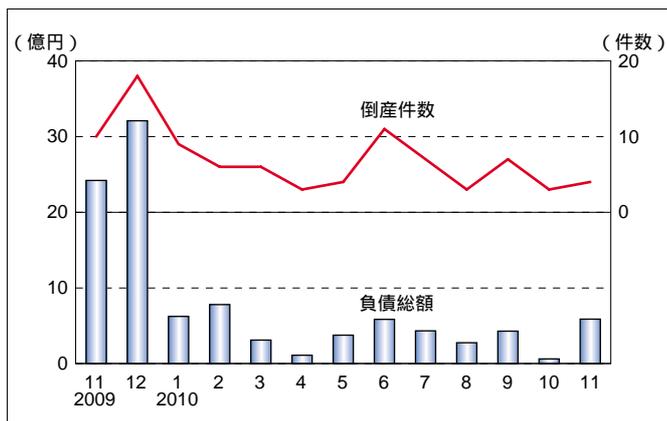
(出所)西日本建設業保証

10月の公共工事保証請負状況(保証ベース)は、件数が前年同月比15.0%増の589件、金額が同5.8%増の179億円と、件数は7 ヶ月ぶり、請負金額は4 ヶ月ぶりに前年を上回りました。

発注者別の請負金額をみると、昨年大型案件の発注があった反動から「国」で同65.1%減となったものの、橋梁工事等の発注により「県」で同27.2%増、「市町村」で同6.9%増と伸び、全体を押し上げました。

[企業倒産] 件数、負債総額ともに低水準で推移

長崎県の倒産状況



(出所)東京商工リサーチ

11月の長崎県の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比60.0%減の4件、負債総額が同75.7%減の6億円となりました。

厳しい経営環境が続く中、「中小企業金融円滑化法」施行以降、件数、負債総額ともに低水準で推移しています。